

平成 20 年 1 月 24 日

各 位

会 社 名 イーシステム株式会社  
代表者名 代表取締役社長 渡辺 博文  
(コード 4322、大証ヘラクレス)  
問合せ先 経理部 松本 千洋  
(TEL.03-3516-9259)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等に踏まえ、平成 19 年 7 月 31 日に発表した通期の連結業績予想並びに単体業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

#### 1. 連結業績予想数値の修正

平成 19 年 12 月期決算 連結業績予想数値 (単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	5,500	200	100	90
今 回 修 正 予 想 ( B )	4,047	△314	△293	△191
増 減 額 ( B - A )	△1,453	△514	△393	△281
増 減 率 ( % )	△26.4	-	-	-
前期実績(平成 18 年 12 月期決算)	3,185	△1,001	△1,096	△3,262

#### 2. 単体業績予想数値の修正

平成 19 年 12 月期決算 単体業績予想数値 (単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	4,000	100	100	90
今 回 修 正 予 想 ( B )	2,444	△191	△140	△510
増 減 額 ( B - A )	△1,556	△291	△240	△600
増 減 率 ( % )	△38.9	-	-	-
前期実績(平成 18 年 12 月期決算)	2,016	△770	△750	△2,588

#### 3. 修正の理由

昨年来取り組んできたキヤノン電子株式会社との協業・新規ソリューション開発等を基に、主力事業であるCRM事業の本格回復に向け注力してまいりました。その結果、当第4四半期では連結・単体とも営業損益は黒字となる模様ですが、年前半での遅れを取り戻すまでにはいたらず、売上高、営業利益、経常利益および当期純利益ともに前回発表予想を下回る見込みであります。また、前期以前に取得した子会社株式について事業の進捗状況に鑑み一部を減損処理したことから、単体業績予想ではそれに伴う費用を特別損失として計上しております。

以上